

## 「国際金融都市O S A K A 推進委員会」設立総会議事概要

- と き：令和3年3月29日（月曜日）11時00分から11時55分まで
- ところ：大阪府新別館南館8階 大研修室
- 出席者：委員・オブザーバー名簿のとおり

### 【司会（事務局）】

- ・開会、会議の公開（youtube 同時配信）の説明、委員紹介（名簿にて）。
- ・議事2 委員会規約（案）について、資料3 国際金融都市O S A K A 推進委員会規約案を事務局から説明。
- ・規約案について議決<各委員、「異議なし」>
- ・議事3 会長等の選出について、規約第5条第1項に基づき、委員からの推薦意見を求める。

### 【吉村知事】

- ・本日は、国際金融都市推進委員会の設立に、各界代表の方にご参画いただきましてありがとうございます。心からお礼を申し上げたいと思います。
- ・国際金融都市の実現を進めていくためには、この本委員会のもとで、オール大阪の体制で取組みを進めていくことが重要だと思っています。
- ・この委員会の会長には、大阪関西、ひいては日本経済の発展に向けてリード役として、大阪・関西の総意を体現できる経済人の方が適任であると思っています。私としましては、これまで関西の経済界を牽引されてきたリーダーであり、また万博誘致等の実績もごございます、松本会長を本推進委員会の会長に推薦したいと思います。よろしくお願いします。

### 【司会】

- ・他のご意見確認<各委員、「意見なし」>。
- ・関西経済連合会の松本会長を会長に選出することについて議決。<各委員、「異議なし」>  
(以降の議事進行は松本会長より)

### 【松本会長ごあいさつ】

- ・ご紹介いただきました松本でございます。
- ・私は金融界で仕事したことはございません。もっぱら50年間ものづくりばかりやっておりましたが、今回、会長にご推挙いただきまして、微力でございますけども、大阪のため、関西のために一生懸命やりますので、ぜひご協力のほどお願い申し上げます。
- ・ここへ来るまでにいろいろな識者の方にご意見をよく聞いてまいりました。私は専門の知識はございませんけれども、皆様のご意見を聞いて、大阪・関西のために何が利益となるのかという観点で進めていきたいと思っています。
- ・会長としての想いについて一言申し上げたい。国際金融センターの一律の定義とか要件について決まったものはないのではなく、都市ごとに様々な国際金融センター機能のタイプがあるだろうと考えていま

す。海外のプレーヤーから国際金融センターとして認知されるには時間かかりますので、地道で継続的な活動が不可欠であります。まずは、この推進委員会で、大阪の現状とか将来の可能性、大阪の優位性、不足している点などの分析をもとに、大阪・関西が国際金融都市のどのタイプの機能を強化すべきなのか、そのためにどのような条件を、もちろん環境整備も含めて、整える必要があるかについて議論を尽くして、関係者間で共有できるコンセプトを作り上げる必要があるのではないかと考えています。

・大阪・関西ならではの取組みとして、他地域とどのような差別化ができるか。大阪・関西が国際金融都市として生きていくための製品の差別化、システムの差別化というのは非常に重要なことになってくるのではないのかと、門外漢ではありますが痛感しているところでございます。

・金融ビジネスに携わるステークホルダーは非常に多いようでございます。大阪・関西のプロジェクトや産業への投資を促進して、関西全体の競争力強化に繋げる観点が不可欠であります。微力ながら皆さんとともに、大阪・関西の国際金融都市創出に向けて頑張らせて参りますので、皆さんよろしく申し上げます。

・それでは、議事を進めさせていただきたいと思っております。

#### (副会長の選出)

・次に副会長でありますけれども、規約第5条第3項に、副会長は委員の中から会長が指名するとあります。私としましては、設立発起人の皆様に副会長をお願いしたいと考えております。副会長は、吉村洋文大阪府知事、松井一郎大阪市長、尾崎裕大阪商工会議所会頭、深野弘行関西経済同友会代表幹事の4名の方々にお願いしたいと思っております。

・また、規約第6条第2項で、職務代理の順序を会長が定めることになっておりますので、尾崎副会長、深野副会長、吉村副会長、松井副会長の順にお願いしたいと思っております。

・それでは副会長から、一言ご挨拶を頂戴できますでしょうか。

#### 【尾崎副会長ごあいさつ】

・ただいま副会長にご指名いただきました、大阪商工会議所の尾崎でございます。

・大阪は、世界からいろんな人が集まり、ものが集まり、そして知恵が集まる、そういう都市にしていきたいと思っておりますので、金融も、大阪が国際化するために、本当に重要な要素だと考えています。大阪の活性化のために、商工会議所としても一生懸命努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【深野副会長ごあいさつ】

・関西経済同友会の深野でございます。よろしくお願いいたします。

金融ビジネスは、ご案内の通り、大変重要な産業インフラでありますと同時に、大変な知識集約産業でございます。日本の経済発展戦略の中で欠くことのできないものと思っております。

・そしてまた、単なる金融技術の進歩だけではなくて、ESG投資とか、あるいはスタートアップのリスクマネー供給とか、さらにはレジリエンス、あるいは金利システムの信頼性の向上といった色々な要請があると思っております、こういった取組みが今求められていると思っております。

・当然のことながら国との連携というのも大変大事でございますけれども、一方で、民主導で、金融ビジネスは、物理的にも首都と多少距離があった方がいいということもあると思っております。例えば諸外国を見ても、一つは首都から離れたところで金融センターを持っている国はたくさんあるわけですし、ま

た災害時のレジリエンスなんかも考えると、そういうメリットもあると感じております。

・そういった中で、大阪がどういう役割を果たしていけるのか、これについての議論に私どもとしても、努力をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

#### 【吉村副会長ごあいさつ】

・今回、この国際金融都市を目指すというきっかけも少しお話したいと思います。僕は大阪市長時代にシカゴの取引所を訪問いたしました。取引所の責任者から大阪の歴史、また大阪はなぜもっと頑張らないんだという話も聞いたところです。

・シカゴと大阪、非常に似ているところもあるのですが、大阪においては先物取引が発祥の地であると。政治・行政それから経済・金融、全て東京に一極集中するという中で、大阪・関西がこの民の力で、この国際金融の分野でも個性を持って、エッジの効いた金融都市を目指すことができないかと思っていたところでもあります。

・また、都市のインフラや、2025年の関西万博、新しい産業技術に挑戦しようというスマートシティの発想、未来医療拠点、うめきた2期、これから関西は国際化に向けて、また新しい技術、新しい取組みをする土台が整っていると思いますし、それから、「やってみなはれ」ということで、新しいことにどんどんチャレンジする、そういった少し尖がったまちづくり、尖がった都市というのを目指して、東京とは異なる個性で日本を引っ張っていくことができないかという思いがあります。

・そうは申しましても、なかなか金融というのは難しい分野もありますが、今回新しく菅総理が就かれてですね、国においても、税制についても変えていかなければならない、小都市においても切磋琢磨していけばいい、こういった話もあり、国においても国際金融都市の動きが活発化しています。

・また、大阪府、大阪市が同じ成長戦略を作るということで、大阪の歴史を見ても府市が一体になって物事を進めていくことはあまりなかったのですが、その環境が今、整っているという状況ですから、大阪の力を、大阪の成長を存分に発揮できる環境があると思いましたので、非常に難しい課題でありますけども、第一歩を踏み出すべきと判断をいたしました。この機に、官民一体となって、エッジの効いた国際金融都市をぜひ目指していきたいと思っておりますので、よろしく願いします。

#### 【松井副会長ごあいさつ】

・大阪市長の松井でございます。

・10年前に知事に就任をいたしまして、その時には、東京一極集中、これが全く見直されることがない。

・これからの日本は、人口減少・超高齢化社会に突入する中で、様々な社会保障を支えていかなければならない、そのようなときに東京一極だけでこの日本を牽引するのは非常に厳しいということで、10年前から我々は東京と肩を並べられる二極というものを、この大阪関西でしっかり作っていかうと、当時の橋下市長と、大阪の成長に関する設計図、指針を一元化しようとして成長戦略を作りました。

・成長戦略の中身というのは、人とモノと、そしてお金が集まる、そういう都市を作ろうということです。人とモノが集まるためには、様々なチャレンジができる、挑戦ができる、規制緩和が実現できる、そういう都市を作っていかなければならないということで、万博が一番いい例なのですけれど、これは未来社会の実験場であります。夢洲全体で様々な規制緩和をして、新しいことにどんどんチャレンジしていこうということを、国にもスーパーシティという枠組みの中で求めております。

・10年間、成長戦略に基づいて、府市一体で様々な動きを加速させながらやってきた結果、昨年には大

阪市の流入人口が東京 23 区を上回り、日本で一番人口が入ってくる都市として数字に表れてきました。

・しかしながら、首都圏と関西圏を見たときには、まだまだ大阪・関西全体にそれほど期待が集まっているという状況ではありません。人とモノが集まる、チャレンジできる、そういう形は少しずつ見えてきましたけれど、次はお金が集まる、こういうことをスタートしなければならない。

・今、吉村知事からもありましたけれども、エッジの効いた、東京の金融の状況とは違う、そういう金融都市を大阪で、是非、関西を巻き込みながら実現したいと思っておりますので、皆さん方のご協力を心からお願いいたします。どうもありがとうございます。

#### 【松本会長】

- ・資料 4、「国際金融都市 O S A K A 推進委員会の推進体制について」をご覧ください。
- ・規約のところでも事務局から説明があった通りです。総会・役員会・幹事会やアドバイザーなど委員会の推進体制についてまとめてございます。ご確認ください。
- ・それでは議事を進めていきます。
- ・第 8 条第 1 項に基づく審議事項でございます。「2021 年度実施計画（案）について」に移ります。
- ・お手元に配付しております資料 5、「2021 年度「国際金融都市 O S A K A 推進委員会」の取組み（案）」を事務局から説明いたします。事務局お願いします。

#### 【事務局より「2021 年度「国際金融都市 O S A K A 推進委員会」の取組み（案）」説明】

#### 【松本会長】

・今事務局の方からご説明いたしました実施計画案についてご審議をいただきたいと思っております。まずは皆様からのご意見を聞いていければと思っておりますが、時間にも限りがございますので、一人三分以内のご発言をいただければと思っております。

#### 【SMBC 日興証券 野口常務】

- ・本日は国際金融都市大阪設立総会にお招きいただきましてありがとうございます。
- ・三つの取組み事項ということで、事務局案が出ていると思っておりますけど、先ほど会長・副会長からお話がありましたけど、やっぱり大阪は先物取引市場、これは世界最古ということで、意外と知られてないのですが、デリバティブについてそういった歴史背景があるわけですから、一つはデリバティブ取引について、先進的な取組みをやっていくべきというのは非常に賛成しております。
- ・それともう一つは、E S G 投資の話も出ていますが、これについても万博が一つの実験場ということで、いろんなことにチャレンジできる、せっかくそういうチャンスがあるわけですから、やっぱり E S G 投資も非常に重要だと思っておりますし、将来性も高いということで、ある程度絞った形でやっていかないと、総花的になって、なかなか進まないということがないように皆さんと一緒にやっていきたいと思っておりますので、一つよろしく願いいたします。

#### 【SBI ホールディングス 北尾社長】

- ・北尾でございます。
- ・私は香港の一国二制度崩壊の危機に直面するや、直ちに大阪に国際金融センターをつくるべきだとい

うことを早くから提唱をしてきました。ようやく今日のこの日が迎えられて、本当に慶賀に堪えないと、私自身にとっても非常に大きな喜びとするところであります。

ことをなすにやはり「天の時、地の利、人の和」と昔から言っていますけれども、「天の時」という意味では、香港がこういう形になったということは、香港の代替市場としての役割をどこがするのかということが非常に大きな課題になっていたわけですが、私は大阪が一番だと思っています。クロスボーダーハブの金融市場として、香港は栄えてきたわけですが、その役割を取って代わるのは大阪だろうと思います。

・そしてまた、力強い政権のサポートも得られるのではないかと。現に、税制が一番大事でありますから、これについて動き出していることもあります。

・また、スーパーシティ法案が、これが20年の5月27日に法制化されたということ、これも大きな我々にとって「天の時」を得るものじゃないかと思っています。

・また「地の利」ということでは、先ほどからお話があったように、堂島先物取引の発祥の地ということもありますけれども、それだけではなくて、これからの経済で一番大事なのはアジア圏です。世界の経済圏を見ると、アジア圏に最もアクセスができる日本のシティというと、これは大阪であります。

・現に関空の19年の訪日人数は日本のトップです。従ってアジア圏とのクロスボーダー取引をするためにも、大阪というのは「地の利」を得ていると考えております。

・そして、観光都市として世界的に有名な京都・奈良が近隣にある、これも外国人にとっては非常に大きな魅力だろうと思います。そして、アジアに近いという意味でも、東京より遥かにいいと。

・ただ、私は東京・大阪、どっちかじゃないといけないとは思っていない。東京は東京でこれからも発展していけばいいと思います。

・ただ、我が国のように、個人金融資産が1,900兆円もある、しかもその54%が預貯金になっている国というのは、世界にないのです。そういう国だからこそ、我々としては世界中の投資家、マネーマネージャーを集めていける、そういう土壤があるわけですから、いろんな形で金融センターとして飛躍したらいいと思います。

・アメリカも、先ほど知事の話でありましたが、シカゴも金融センターとして、世界に冠たるものであります。ボストンもサンフランシスコもそうである。一つしかないということ自体が不思議なことであって、共存共栄を東京としていったらいいというのは、私の基本的な考え方です。

・私どもとして「地の利」も「天の時」も得ているところで、最終的に一番大事なのは「人の和」ということですけれども、松本会長を始め関西経済界の重鎮、それから知事・市長、全面的に協力して下さるということですから、あとは「人の和」、我々一丸となって、強い意志を持って何が何でも成功させるということで、「会して議せず、議して決せず、決して行われず」というようなことで終わるといことがないように、全力を挙げて、強い意志で強い志を持って、この大阪国際金融センター、何としても具現化したい。

・一つだけ先ほどからの話に出てなかったことで、追加しておきますと、大阪この関西圏を国際金融センターのみならず、フィンテックの企業の集積地にすると、これは金融センターとの相乗効果も働く上に、非常に意味があることです。これからの新しい次世代の金融センターを作っておく技術的な土台を、この大阪で作り上げていくということです。

・シンガポールもフィンテックセンターになることを主張して、15年から20年の間に173億円、そして、この20年から3年間で193億円を投下すると表明しており、最初の5ヶ年計画で1,000社ぐらいフ

インテック企業があつまりました。

私ども S B I グループ 1 社で 1,175 億円のお金をフィンテック企業に投下しており、必ず我々が世界有数の次世代の金融センターのみならず、フィンテックの産業の集積地になれるというふうに私は確信をしています。

・産業の集積地ということも大阪経済界にとって非常に大事なことですから、是非これも付け加えたいといただきたいというふうに思います。

#### 【松本会長】

・どうもありがとうございました。これもいろいろと検討しながらまとめていけばと思いますが、時間もございますので、ここでデリバティブの取引について大阪取引所の岩永社長、コメントございましたら、お願いしたいと思います。

#### 【大阪取引所 岩永社長】

・岩永です。ご紹介いただきました大阪に所在する取引所として、今回の金融都市構想を目指すという動き、大いに賛同しております。皆さんと一緒に金融の面から大阪を元気にするために何ができるか考えてまいりたいと思っています。

・現在の大阪取引所のデリバティブ市場の実情ですけれども、マーケットで取引をいただいている方々の 7 割が、実は非居住者です。7 割が外国人投資家であるということです。

・そういった意味では、すでに大阪のマーケットを国際化しているとも言えるわけですが、一つご留意いただきたいのは、資本取引が高度に自由化されておりますので、現在の金融マーケットでは、投資家は投資先に拠点を置かずとも取引と決済を完了できるということです。外国人投資家が日本のマーケットを利用するからといって、必ずしも日本の国内に拠点を置く必要がないというのが現状です。

・そういった中で、海外から金融関連の人材を大阪に呼び込むためには、彼らが大阪に拠点を置きたいと思うようなジョブオポチュニティーを我々が提供する必要があると思っております。

知事からのお話にもありました通り、大阪の個性を生かした取組みを、デリバティブ取引に限らず、幅広い分野で考えて見出していければと思っております。

#### 【松本会長】

・どうもありがとうございましたそれではもうひと方、中塚さん、いかがですか。

#### 【大阪堂島商品取引所 中塚取締役】

・ありがとうございます。今、お話もありましたが、やはり今日本の先物、金融商品もそうですけれど、国内だけの流動性でやっていこうとなると、おのずと限界があると思います。東京証券取引所、現物の取引でも 7 割が海外勢といった状況ですから、やはり海外の流動性を取り込んでいく必要があると思います。

・まさにそういったクロスボーダーハブに、大阪というのは適地である、非常にふさわしいと思います。

・加えまして、金融が情報通信産業と表裏一体の時代にあります。金融が盛んになるということは、データトランザクションが増えるといったこともあります。IT 産業はもちろん、そこに加えまして、大型データセンターをこの大阪の地にしっかりと確立をしていくべきであろうと思います。

・そのことによって、建物や、ものが必要になるわけですから、金融以外の波及効果を期待できると思います。いずれにいたしましても、一員として一生懸命努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いを致します。

**【松本会長】**

・どうもありがとうございました。  
・外資系で、お二方来られておりますけども、パークレイズ証券の児玉副会長にお願いしたいと思いません。

**【パークレイズ証券 児玉副会長】**

・パークレイズの児玉でございます。本日はこのような場にお呼びいただきまして本当にありがとうございます。

・最初にこのお話をいただいた時に、私も銀行員を長くやっていると、日本の金融市場国際化の話は何度目か忘れましたが、「またですか」というのが本音だったのですが、先ほど来、皆さん方がおっしゃっておられるように、今回はちょっと迫力が違うなという気がしまして、私も頑張ろうと思った次第です。

・会長からお話がありましたように、過去なぜ上手くいかなかったか考えてみると、金融都市というと、金融は金融、銀行は銀行とか、証券とか、そこばかりに焦点が当たって、お金の流れを作るというのは経済の血流を作ることですから、地元の経済だとか産業だとか、それが栄えなければ、金融だけ儲かればよいということではない。そこが抜けていたと思います。そうすることによって初めて、地域のサポートとか納得感も得られる。

・経済効果が出て、府市共に税収が上がると、こういう形で国民の皆さんも納得されると思いますので、そういう勢いでやっていければと思います。

競争は大変厳しいです。先ほどシカゴなどの名前が出ましたが、我々も実はアジアの本部はシンガポールにあるのですが、シンガポール政府は大変手ごわいのです。

・ただ、日本は先進国としての政治とか、法的安定性、取引安定性については海外の投資家、市場関係者、しっかりわかってくれていますので、あとはそれをどうやって売り込んでいくか、ブランドを確立するか。お話ありましたけれども、やはり商都の歴史、おそらく大阪の堂島のデリバティブはシティ・オブ・ロンドンより遥かに古くからありますので、そういうものをしっかりと売り込んでいって、知事のお話もあったように、私この言葉が好きですが、「エッジを立てて」、「やってみなはれ」精神と、それからここ大阪に人と金を集める必要があるので、「おもろいやん」と思わせなきゃ駄目です。

・フィンテック、それから、今ちょうど日本政府も 2050 年に向けて、英国政府も同様ですが、温暖化ガス排出量ゼロを掲げ、今年 COP26 がありますが、これに向けた技術開発とか、足元、喫緊の課題、コロナ対応のための医薬・医療にかかる先進技術の開発、全部お金がいらいます。その必要なお金とノウハウを、大阪を中心に作っていく意気込みに、イギリスのシティ発の銀行として、少しでもご協力できればと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

**【松本会長】**

・児玉さんどうもありがとうございました。

・多数の方が、またご意見ございますと思いますけども、時間も迫ってきていますので、今後、会議を開かせていただき、その時に是非、建設的且つ情熱あふれたコメントをいただいたらと思っております。

・今までいろいろご意見が出ました。非常に力強いご意見、コメント、サジェスチョン等々ございました。これらに留意しながら取組みを進めるということで、来年度の実施計画内容につきまして、承認したいと思っておりますが、いかがですか。

<各委員、「異議なし」>

・ありがとうございます。これで決定いたします。本日予定していた議事は以上です。  
(進行を事務局に返す)

#### 【司会】

・松本会長、ありがとうございました。

・今後の委員会のスケジュール等につきましては、後日、事務局からご連絡させていただきます。